

コンセンサスを得られなかった提案事例

2007.1.24

NTT情報流通プラットフォーム研究所

新延 史郎

<nin@syce.net>

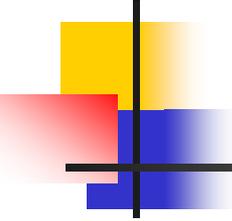
どんな提案だったの？

- 9th JPNIC Open Policy Meeting -

IPv4プライベートアドレス拡張提案

2007.12.8
NTT情報流通プラットフォーム研究所
新井 中郎





提案した内容

- IPv4プライベートアドレスの拡張
 - サイズ: クラスAを3ブロック
 - たくさんのユーザを抱える電話会社対応
 - 現行プライベート空間と重ならない別空間
 - 現行プライベートNWへの影響を考慮
 - 利用目的限定を原則とする
 - 現行プライベートのような自由空間ではない

提案に至った背景

- 世界の動向として電話のIP化(NGN)が話題
既存電話会社がIP化すること
- サービス中のIP電話会社のアドレス
一意性を担保するためにIPv4グローバルを使っている
可能な限り現行設備を利用したい
- 電話会社の加入者数
n千万加入(現行プライベートアドレス空間では足りない)

世界中の電話事業者がNGN用とIPv4アドレス取得
するとどうなっちゃう?

IPv4グローバルの枯渇

先進国と途上国の
格差問題に発展?

会場の反応

- IPv6でやるべし
 - IPv6をなぜ使わないのか
 - ⇒既存設備との親和性
- IPv4グローバルを取ればよい
 - IPv4でもと言うのなら、現行ルール上で必要な数グローバルを取得して、IPv4にとどめを
 - 現行のIPv4グローバルアドレスを取得する労力と、新たなIPv4プライベート空間を設ける労力を比べる必要があるのではないか
 - ⇒IPv4グローバルの延命+地域格差の問題化回避
- 利用目的を限定すべきではない
 - 電話網のみのため...というのはよいのか
 - 多くの利用シーンを想定して柔軟な利用ができるように
 - ⇒他の用途が思い浮かばなかった+用途が明確であった方が理解を得られると思った